



伴学区 社協だより

発行 伴学区社会福祉協議会
住所 〒731-3164 安佐南区伴東7丁目64-8
電話 082-848-3277

笑顔のプレー 健康寿命を伸ばす

創立20周年 グラウンドゴルフ大会

伴学区社協創立二十周年記念の
第十一回グラウンドゴルフ大会が
三月五日、広域公園第一球技場で
あり、十町内会の九十八人(うち女
性三十九人)が、コロナ禍に負けな
い元気なプレーを披露しました。
(高齢者福祉部会 西田雅行部長)



△芝の上でプレーする出場者
◁左は女性入賞者▷と男性入賞者



伴社協は、お年寄りが住み慣れ
た場所ので健康に暮らせる地域づく
りを応援しています。大会は、初の
主催行事として平成二十四年ス
タート。コロナ対策に伴い、三年ぶ
りの開催です。
グラウンドゴルフは、適度な運
動量に加えて出会いと声掛けによ
る近隣の絆づくり、プレー中の集
中力と向上心など、健康寿命に三
拍子も四拍子も良い活動です。ふ
だん練習する広場の環境整
備に貢献される団体もいま
す。

伴晴英会長が、社協の活
動へ理解と支援を求めなが
ら「触れ合いも大切に楽し
い一日を」と激励。快晴の空
の下、青い芝の上でマスク
を外した開放的な姿も。男
女の部の一位選手によるニ
アピン決戦で藤村竹子さん
(広陵)が総合優勝しました。
大会運営で体協や老人会、
町内会をはじめ、民生委員
児童委員や福祉委員ら多数
の協力をいただき、ありが
とうございました。

成績は次の通り。(敬称略)
【女子】①藤村竹子(広陵)

- ②荒植照美(三城田) ③鳥也信子(三城田)
- ④宮本好子(広陵) ⑤中村豊子(三城田)
- 【男子】①宮本友三郎(広陵) ②田中清五(伴中央)
- ③岡村博昭(広陵) ④山崎英治(三城田)
- ⑤西本一雄(若葉台)

木矢院長の五か条

健康上の制約なく日常生活がで
きる「健康寿命」について、昨年発
足した健康づくり委員会理事であ
る日比野病院の木矢克造院長に五
つの提案をいただきました。

- ① さあ食べよう、野菜から
- ② 意外と重要、お口の手入れ
- ③ タバコ、害あって益はなし
- ④ プラス10分、歩こう今よりも
- ⑤ 目覚めスッキリ、朝起きて

二〇二五年問題

団塊世代の全員が後期高齢
者になる二〇二五年。医療介
護ニーズが増える超高齢社会
が来る。伴学区で昨年十月現
在、75歳以上が1242人に
上る。

防災町民運動会 4月16日午前9時 伴小で開催

優しく美しく美しく健康やかな伴づくり

あなたの提案を支援します

みんなの善意銀行

住民参加型の「福祉の伴づくり」を掲げ、発足から三年のみんなの善意銀行。赤ちゃんからお年寄りまで住み良い地域づくりを進めるために助成金による各団体・グループの幅広い活動を支援します。


(池田美代子事務局長)

ぬまたエコ広場(三月・環境局安佐南工場)▽防災町民運動会(四月・伴小)▽美しい散歩道・通学路モデル看板製作の三件の申請を二月、新たに受理しました。これらの地域おこし助成先は、地域福祉、町づくり、防災・災害支援の三分野で計十三件。助成総額は九十万円を超えました。以下、主な参考事例は―。

地域福祉は高齢者福祉(健康づくり事業)▽障がい者支援(みらいちゃんマスク製作等)。

町づくりは交通安全(子ども見守りボランティア等)▽伝統行

「美しい通学路・散歩道」
みんなの善意銀行



地域団体から提案された散歩道のモデル看板のデザイン案。環境の美化や健康の増進、児童の安全など元気な地域づくりを願います

事継承(創作神楽)▽環境美化(ぬまたエコ広場、看板製作) 防災・災害支援はコロナ対策(ワクチン接種代行等)▽災害支援(土砂災害の見舞金等)▽啓発活動(防災町民運動会) 地域を少しでも良くしたいと願うみなさんの活動の提案を歓迎します。申請書

は老人いこいの家に用意しています。

事務局電話 八四八一三二七七

ボランティアバンク「とも」

過去最高の作業実績

日常生活で困っている事柄について高齢者等から依頼を受け、訪問作業をするボランティアバンク「とも」が、令和四年四月(五年二月に実施した作業件数は三十一件、参加者は延べ八十九人に上っています。過去最高の水準です。

内訳は、庭の草取り・草刈り、枝落しの家周辺の作業が十四件と最多。続いて大型ごみ処分三件、掛時計電池や蛍光灯の交換・障子の張替の室内作業三件が並び、防草シート張替の屋外作業一件。



草刈り支援のみなさん (7月・三城田)

新しい取り組みの通院介助に一人の利用があり、介助者二人が計十回付き添っています。

ひとり暮らし・高齢世帯のみなさんが、住み慣れた場所安心して暮らし続けるための少しのお手伝いです。訪問作業に参加できる方は、会員登録をお願いします。

(上野昭司事務局長)

申し込み先

沼田老人いこいの家

電話 八四八一三二七七

児童福祉部会

夏休みのラジオ体操会は、十五町内会三十会場でも千二百十三人、大人四百一人が参加しました。子ども会や大人の体操会「げんきかい」、老人会など担い手はさまざまです。その一つの伴学区子ども会連合会が解散しました。

最後まで支えて活動された奥畑、三城田、広陵の三子ども会も、これから単子子ども会として他団体と協力して顔の見える近隣づくりの取り組みを一層よろしくお願いします。

(中本力夫部長)



輪になって (7月・広陵町内会「みんなの広場」)

地域と触れ合い みらいちゃんショップ再開

コロナ禍の影響で昨年七月から中止していた障がい者作業所の自主製品販売店「みらいちゃんショップ」が三月二日、沼田合同庁舎「火山館」の交流スペースで再開しました。

(障がい者福祉部会 石富三弘部長)

毎月第一、第三木曜日の午前十一時～午後二時に開店です。初日から

生鮮野菜やシイタケ加工品、クッキー、ケーキ、小物を求め、お客さんが来訪。ボランティアのスタッフが準備した販売フロアに活気が戻りました。

ショップには太田川学園、工房とも、ひだまりの家のみなさんが出店。多数のご来店をお待ちしています。

各地域の行事も徐々に再開されつつあるようです。みらいちゃんショップは、地域のお祭り



触れ合いの場 8カ月ぶり(3月2日)

やイベントなどに合わせて臨時出店も可能なお店のスタイルです。ご興味を持たれましたら、伴社協または戸山・伴・大塚地域包括支援センターまでお問い合わせください。



総務部会

伴社協が市指定管理者として四期目の継続受託する老人いこいの家。拠点スタッフを事務所配置し、地域の課題を相談できるように努めています。

令和四年四～十二月の利用者は一万千九百九十一人。コロナ禍で半減した二年間から回復したのも初年度同期の三分の二強



拠点スタッフのみなさん

(68%)です。このうち、介護予防教室は同期間に十六回、延べ二百四十六人が参加しています。十二月一日は高齢者向けスマホサロン「初歩の初歩」を初開催しました。

新型コロナウイルスが五月から「5類」に変更されますが、いこいの家は注意を怠らないように努めます。

(中村晴男部長)

福祉委員部会

グラウンドゴルフの記念大会に福祉委員六人が出場、十二人も会場でお手伝いをしました。高齢者のみなさんが元気に活動

されるように地域で支え合う大切さを感じました。二月に予定した野外研修会は、直前に中止しました。昨年十一月には老人

いこいの家で三年ぶりの研修会を開催。各町内会から二十八人が顔を合わせ、地域での役割を確かめました。コロナ禍でも各地のサロンやボランティアバンクの訪問支援活動などをされる委員のみなさんの報告を聞き、心強く思いました。

(有馬義憲部長)



会場で紹介される福祉委員(右側)

伴あんしんネット

一人暮らし等の高齢者登録者を近隣の協力員が見守ります。いつもの挨拶、さりげない声掛けで寄り添います。

地域包括支援センター内

伴あんしんネットの会

電話(八四九)五八六〇

近隣の顔が見える 伴のもやい結び



みんなの善意銀行

(敬称略)

★賛助会員

令和四年度登録された個人は155人、企業・団体は34件です。匿名希望を除く会員の方を次の通りご報告します。みなさん、ご協力ありがとうございました。

【個人】

伴晴英(広陵) 三十口▽川本一之、新見ヨシコ、荒植正隆(三城田) 以上十口▽程兼実(三城田) 五口▽山口猛(上伴) 西田雅行(伴中央) 杉原悦子(三城田) 加藤栄治(ライオンズマンション) 以上三口▽西田富雄(奥畑) 中富義晴、軸屋智恵子、荒植義則(伴中央) 井上秀之、中田春男、新川竹子(三城田) 以上二口

山田初則、前野弘晃、大下義隆、中植義行、矢川正夫、佐川壽明、長尾繁、鴻上潔人、鴻上美佳、大迫良久(奥畑) 庄原和志、上田安信、井林洋子、森田義文、木村恵子、越智健二(上伴) 井山美隆、森川信枝、中村晴男、上垣内保之、西尾満寿子、田中操、井上弘之(伴中

学区外にお住まいのみなさん 内田健二 十口▽西谷崇 五口▽伊藤努 三口▽小田尚 二口▽清水八重子、中井利彦、澤井雅子、脇岡勝昭、寿賀本正 以上一口

【企業・団体】

(株)日殖建設 十口
社会福祉法人ぐるくろ(株)安芸葬祭
(株)アフィス沼田自動車学校▽伊藤内科 医院 以上三口
社会福祉法人三矢会太田川学園 二口
社会福祉法人和楽会▽中国トクテン(株)
▽(有)宮本プロパン▽学校法人広陵学園
▽日比野病院(有)アイ・エッジ▽専念寺
▽(有)松浦住宅(株)サンテック▽広島舗材(株)▽岡崎神社▽末川 Dece 造園▽耳鼻咽喉科にもと医院▽川中醤油(株)▽(株)広島美建 以上うい亭伴店▽佐々木整形外科科クリニック▽社会福祉法人広島良城会▽J A 広島市伴支店▽太平電業(株)▽三栄パブリックサービス(株)▽(株)横山電興▽(有)新川左官工業▽ぱり嗎沼田店▽(株)クリエイティブ・ライフ▽大日堂(株)▽引地アドウ園▽ピカピカランド178 以上一口

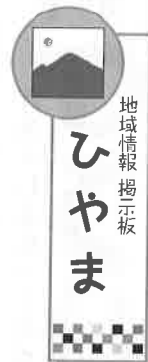
▼香典返しにかえて

(令和四年十二月〜五年三月)
町内会 寄付者御芳名 死没者名
広陵 横 更 博文 幸 恵
三城田 島 也 信 子 片山ソメ

▼一般寄付者

◎：伴小の昭和二十九年卒業生クラス会一同が十二月、六万千百二十円を寄付。

校歌の真実を地域に報告



へあ人類が 永遠に めざす 平和の 旗あおぎ… 伴中校歌を作詞した河本勝利元国語教諭のシベリヤ抑留体験を伝えたドキュメンタリー「校歌に託された願い」の上映会が一月二十八日、沼田公民館で開かれました。



部員のみなさん

全国放送コンテスト優秀賞の報告に伴中放送部が、住民ら三十人を招待。部員十七人が平和を願う校歌の背景に河本教諭の弟で作曲者の重堅さんや教え子らの証言で迫った映像作品を紹介しました。

出席者から「先生の思いと人柄が良く伝わった」と感激の声。放送部顧問の瀧口純二教諭も「地域とつながりを大切にする教育を実践できた」と喜んでいきます。